



平成 30 年 8 月 31 日

各 位

上場会社名 中央可鍛工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 武山 直民
 (コード番号 5607 名証第 2 部)
 問合せ先責任者 常務取締役 三浦 潔
 (TEL 052-805-8600)

中期経営計画「CMC 2020」策定について

当社グループでは、2018 年度から 2020 年度にわたる中期経営計画「CMC 2020」を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

1. 背景

当社の主力となる自動車業界では「100 年に一度の大変革」の到来が予測されております。変革の時期やスピードは調査機関等の予測毎に様々ですが、EV や FCV へのシフトは確実に進むものと考えられることから、その対応のため、この度当社では中期経営計画「CMC 2020」を策定いたしました。

環境変化に柔軟に対応し、持続的に発展していくための基盤固めの期間と位置付け、活動を推進して参ります。

2. 将来あるべき姿（長期的に目指す姿）

～ 持続的に発展できる企業を目指して ～

- ① 「競争力」と「顧客からの信頼」において、業界でリーダーシップを執る
- ② 持続的な成長を可能にする収益構造の形成と向上
(次の柱となる技術/事業の育成と強化)
- ③ 「ESG（環境・社会・ガバナンス）」への積極的な取り組み

3. 中期経営計画「CMC 2020」の重点取り組み

「CMC 2020」では、「成長戦略」として、次世代事業等の次の柱へ投資拡大を図り「基盤固め」として、今年新しく稼働する岐阜久尻工場を中心に、既存事業の「稼ぐ力」に磨きを掛けて参ります。

基本方針		重点取り組み
成長戦略	次世代に向けた取り組み	ネクストモビリティへの「積極的」な対応 (情報収集と具現化)
		軽量化シーズの開発
	収益構造変革	成長分野へ鋳鉄拡販強化
		高付加価値化の推進
基盤固め	財務基盤の強化	鋳鉄既存部品の拡販
		コスト競争力の向上
		中国事業の強化
	人財基盤の強化	人財の育成（制度とプロセス整備）
		企業の社会的責任への取り組み

4. 経営指標（連結）

経営指標	2018年3月期 実績	2021年3月期 目標
売上高	266.0億円	310.0億円
営業利益	7.0億円	13.0億円
営業利益率	2.6%	4.0%以上
経常利益	13.4億円	19.0億円
経常利益率	5.0%	6.0%以上

当中期経営計画期間においては、基本方針の「成長戦略」と「基盤固め」を推し進めることで、利益水準の確実な向上を目指して参ります。

なお、本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上